



多久 DE ハロウィン 2018 (10/21 あいぱれっと)

議会だより

平成30年
9月定例会
第38号

目次 contents

主な議案 ▶ P2
議案質疑 ▶ P2
審査報告 ▶ P4

豪雨被害視察 ▶▶▶▶▶ P8
一般質問 ▶▶▶▶▶ P9
街で発見！ 肥前狛犬 ▶▶▶▶ P12



街で
発見！

旧多久領の 「肥前狛犬」



秋祭りの季節です。神社を訪問すると・・・直線で角ばった顔に、猫のような曲線の身体で、お座りをした姿が特徴的な石造物が！そう、狛犬です。でも、普通の獅子型の雄々しいタイプではなく、独特の姿をした小型で素朴な愛嬌のある姿「肥前狛犬」なのです。

「肥前狛犬」のお話の前に「狛犬」とは、まず何なのでしょう？「狛犬」は神社に奉納され境内の入り口に置かれている石像で、神聖な場所を守る霊獣とされる空想上の守護獣像です。本来は左右が違う存在で向かって右側が口を開けた阿像「唐獅子」で角が無く、向かって左側が口を閉じた吽像で、角ありの「狛犬」でした。しかし、時代の移り変わりと共に角は消えていき左右どちらとも唐獅子の姿になりました。

ちなみに、阿像と吽像は阿吽の呼吸の阿吽です。これは古代インドの言葉（サンスクリット語）の文字の最初と最後の言葉とされ、仏教の教えと融合し、悟りの心と涅槃の境地を意味するそうです。

さて「肥前狛犬」の話に戻ります。「肥前狛犬」は旧多久領、現在の牛津町砥川地区の石工集団によって主に地元産出の安山岩で16世紀末から18世紀前半の約160～170年間に制作・奉納された、阿吽一對2体がセットとなった石造です。

江戸中期以降に一般化する唐獅子型狛犬と比べて小型で素朴な雰囲気ですが、デフォルメされたユーモラスな顔立ち、直線、曲線を駆使したユニークな体形が特徴です。シンプルですが、可愛らしい雰囲気を醸し出していますね。

実は、身近な存在の「肥前狛犬」。近所を散策するついでに探してみるのも楽しいかもしれませんね。



※肥前狛犬を持ち去る事例が発生しているそうです。神仏を守護するのが狛犬のあるべき姿です。見たい時には安置された場所に出向き周りの景色や雰囲気とともに楽しみたいものですね。

野口香月
委員
義正
光則
野田北
渕
悟厚

委員長
樺島永一郎
副委員長
服部奈津美

議会広報委員会



「議会報告会」のお知らせ！

11月13日(火) 19:00～20:30
東多久公民館・多久公民館・西多久公民館
11月14日(水) 19:00～20:30
納所交流センター・南多久公民館・北多久公民館

多久市議会では、議会基本条例に基づき「議会報告会」を上記のとおり開催します。みなさんの参加をお待ちしております。
※どの会場でも自由に参加できます。